

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜盲学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年12月7日(土) 8:50~10:50
- 3 開催場所 岐阜盲学校 体育館及び校長室
- 4 参加者
会長 池谷 尚剛 岐阜大学教育学部 名誉教授
副会長 木原 奈央子 本校PTA 会長
委員 神 尚喜 視覚障害者生活情報センター 主任
平井 花画 岐阜県ユネスコ協会 会長
松本 公 京町自治会連合会 会長
岩田 友樹 本校同窓生 ほぐし・もむタロー (欠席)

学校側 兒玉 哲也 校長
磯部 典之 事務部長
立川麻里子 教頭

5 会議の概要(協議事項)

- ・本校の文化祭(小学部と中学部のステージ発表)を鑑賞する。
- ・第1回学校運営協議会後の活動・取組について説明する。
- ・本校の文化祭のあり方について協議する。

意見1: 学校は少人数であっても、達成感がもてる場になっている。今日のステージ発表も児童生徒たちはとっても良い表情だった。今後、児童生徒数の減少が予想されるが、これまでのように教師が工夫して児童生徒が活躍できる場を作ってほしい。

意見2: ステージ発表では、演題から構成まで児童生徒が自分たちで企画していることが伝わる発表で、ステージ発表までの過程を自分たちで作り上げる楽しさを味わっている良い形の発表であった。

意見3: ステージ発表を鑑賞する際には、自ら目を閉じて視覚に頼らずに聴覚で情報を得るように体験してみた。これまでに、聴覚で感じたり情報を集めたりする経験がないため難しいと感じた。

意見4: ステージ発表では、児童生徒が協力して、一緒に作りあげる感動や充実感を味わっている。また、一人一人にスポットが当たっていた。今後は、地域の方や一般の方にも参観いただくようにできないか。また、視覚障がい者の方にも参観していただくために、スライドを見る際には音声ガイドを取り入れるなど情報を得る仕組みを工夫したい。

意見5: ステージ発表では、小学部の児童はかわいらしく、中学部の生徒は成長

がよくわかる活動になっており、盲学校で着実に力をつけていることが伝わってきた。今後も、児童生徒に活躍の場を提供し、将来に必要な力を学びながら習得できることに期待する。

6 会議のまとめ

- ・ 第2回学校運営協議会は、文化祭の一部を鑑賞した上で、委員から意見を得る機会とした。
- ・ 今年度の文化祭は、午前中がステージ発表、午後からは外部団体が主催するコンサートで音楽鑑賞や楽器に触る貴重な体験を行った。コロナ禍以前は、文化祭に地域の方をお招きしていたが現在は地域の方や一般の方との交流の機会は設けていない。今後の盲学校の文化祭において、地域の方や一般の方との交流を検討していく必要性について貴重な意見を得た。
- ・ ステージ発表については、一人一人が生き生きとした表情で自信をもって発表していた。教師が、児童生徒の個性を大切に、ていねいに支援されていることが想像できる発表であったと評価された。